

問 市内各地にかんがいを目的としたため池が多数存在する。中でも貯水量の多いため池は県の管轄となっており、昨年度、県は耐震診断を行うため、各地の池でボーリング調査を行った。当初、昨年度末までに耐震診断結果がまとまるとのことだった。

ため池の耐震性は

答 市内各地にかんがいを目的としたため池が多数存在する。



答 市が管理する雨水排水のポンプ場は26施設、農業用の排水機場は5施設。その他、土地改良区が所有・管理する排水機場が10施

問 浸水対策として、雨水排水ポンプ場や農業用の排水機場などの排水施設が整備されているが、現状と課題は。

答 市が管理する雨水排水のポンプ場は26施設、農業用の排水機場は5施設。その他、土地改良区が所有・管理する排水機場が10施

排水施設の現状と課題は



答 平成25年度に県において、規模、影響度の大きい市内のため池26カ所について実施されたが、その調査結果について、現在、精査しているところであり、診断結果がまとまり次第公表する方針と聞いている。



中央ポンプ場（東川口町）

問 ①本市の支援事業の特徴と今後の課題は。
②県の事業との連携は。

子育て支援について



答 ①これまで、充実した就学前施設を活用した多様な保育サービスにより、待機児童ゼロを継続しながら、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに取り組んでいる。

問 本年5月、男児の白骨遺体が死後7年たつて発見された厚木市の事件をはじめ、過去にも育児放棄など全国で多くの痛ましい児童虐待の報告がある。乳幼児健診未受診などの家庭は、虐待の発生リスクが高く、

答 1歳6ヶ月児健康診査は93.8%、3歳児健康診査は92.6%で、未受診者には家庭訪問や電話等で受診勧奨に努めている。

養育支援を必要とする家族支援は



支援の検討が必要と考えられる。本市の乳幼児健康診査等の状況と対策は。

答 1歳6ヶ月児健康診査は93.8%、3歳児健康診査は92.6%で、未受診者には家庭訪問や電話等で受診勧奨に努めている。

答 1歳6ヶ月児健康診査は93.8%、3歳児健康診査は92.6%で、未受診者には家庭訪問や電話等で受診勧奨に努めている。